

第57号議案

滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案に関する知事への意見に係る臨時代理の承認について

次のとおり臨時に代理した滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案に関する知事への意見については、これを承認する。

令和6年3月19日

滋賀県教育委員会

---

滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案に関する知事への意見について

滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案に関する知事への意見について、滋賀県教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則（昭和63年滋賀県教育委員会規則第4号）第4条の規定に基づき、臨時に代理する。

令和6年3月11日

滋賀県教育委員会教育長 福永 忠克

---

滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案に関する意見について

格別の意見はない。

## 滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案要綱

### 1 制定の理由

令和2年度から令和3年度にかけて公立小中学校において1人1台端末として整備された情報機器の円滑な更新等を行うため、滋賀県公立学校情報機器整備基金条例を制定しようとするものです。

### 2 概要

- (1) 公立学校における情報機器の円滑な整備を図るため、滋賀県公立学校情報機器整備基金（以下「基金」という。）を設置することとします。（第1条関係）
- (2) 基金として積み立てる額は、その積立てをする年度の一般会計歳入歳出予算（以下「予算」という。）で定める額とすることとします。（第2条関係）
- (3) 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならないこととし、基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができることとします。（第3条関係）
- (4) 基金の運用から生ずる収益は、予算に計上して、基金に繰り入れることとします。（第4条関係）
- (5) 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間および利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができることとします。（第5条関係）
- (6) 知事は、基金の設置の目的を達成するために必要な経費の財源に充てるために、予算の定めるところにより、基金を処分することができることとします。（第6条関係）
- (7) この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、規則で定めることとします。（第7条関係）
- (8) その他
  - ア この条例は、公布の日から施行することとします。
  - イ この条例は、令和11年6月30日限り、その効力を失うこととします。

滋賀県公立学校情報機器整備基金条例案

上記の議案を提出する。

令和6年3月11日

滋賀県知事 三日月 大 造

---

滋賀県公立学校情報機器整備基金条例

(設置)

第1条 公立学校における情報機器の円滑な整備を図るため、滋賀県公立学校情報機器整備基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、その積立てをする年度の一般会計歳入歳出予算（以下「予算」という。）で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、予算に計上して、基金に繰り入れるものとする。

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間および利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(処分)

第6条 知事は、基金の設置の目的を達成するために必要な経費の財源に充てるために、予算の定めるところにより、基金を処分することができる。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

付 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例は、令和11年6月30日限り、その効力を失う。